

「校是と本校教育」

小野市立小野中学校長



小野中学校に私が初めて赴任したのが今から30年前。平成23年の新校舎竣工前のことですから、当然、学校施設は現在とは大きく異なるものでした。現在のテニスコート辺りに正門があり、門を入ると体育館や駐輪場がありました。頭髮の自由化に取り組んだのもその頃でした。私の場合、他市からの転勤でしたので、小野中学校の授業スタイルである「ASK(アスク)学習」の完成度とその意義は新鮮でした。今思えば、ここ数年、推奨されている「主体的・対話的で深い学び」、「協働的な学び」、「表現力の育成」を先駆けて実践していたんだなと誇りに思います。この「ASK学習」には、学校の目指すべきことが反映されています。小野中学校の校是(こうぜ)にも感銘を受けたことも思い出されます。校是とは、「学校の教育上の根本精神」と辞書にはありますが、本校の生徒や教職員にとっては、「目指す人物像」というべきものです。



校是

「人として あたたく かしく つよく 共に生き合う」

「あたたく」
思いやりの心を持ち、礼儀正しく豊かな生徒

「かしく」
自分のよさを見つけ、将来の夢や希望を育む生徒

「つよく」
心身を鍛錬し、たくましく生き抜く生徒

「共に生き合う」
みんなで心を一つにし、一人ひとりを大切にする生徒

ここに掲げる生徒を育むため、小学校との一貫教育、道徳教育、人権教育、学級活動や学校行事、体験学習、各教科の学習、特別支援教育、キャリア教育、脳科学理論に基づく教育の充実を一層図ります。さらに、すべての生徒が自尊心を高め、安心して学校生活を送れる体制づくりに取り組みます。教職員は生徒の声に耳を傾け、学習や進路、部活動、人間関係などの相談に丁寧に応じていきます。週に一日、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談日を設定し、保護者も含め、さまざまな相談等に応じます。

また、本年度より、「適応教室」を「教育サポートセンター」とし、多方面から生徒への支援を行う組織へ発展させます。併せて、本校には「サポートルーム」を設け、最適な支援を行い、生徒の社会的自立の基盤づくりに取り組みます。「教育サポートセンター」から派遣される支援員とともに、個に応じた支援をより一層充実させます。



5月・6月の行事予定

- 第1回エコ回収 5月11日
- 中間テスト 5月16日、17日
- 8年生トライやる・ウィーク 5月20日～24日
- 9年生修学旅行 5月27日～29日
- 7年生学年レク 5月29日
- 授業参観日 6月5日
- 小野市総体 6月15日、16日
- ハートフル弁当 6月20日
- 期末テスト 6月24日～26日

